

## 【授業計画】

以下を予定しているが、講義開始時まで大幅に変更される可能性がある。なお、講義の進展状況に応じて、適宜、変更をすることがある。

### 1. イントロダクション(第1回)

- 労働経済学、理論分析、実証分析、データで見る日本の労働

大森(2008)第1章、市村(2009)、The Economist (2009)

### 2. 労働需要(第2、3、4回)

- 労働需要についての、企業の(静学的)行動モデルとその応用(解雇規制など)

大森(2008)第5章、島田(1986)第3章、大森(2008)第6章、太田(2009)、神林(2009)

- 企業内における、採用と昇進に関する経営者・従業員の行動モデル

大湾(2010)第5、6章

### 3. 労働供給(第5、6、7回)

- 労働供給についての、個人の(静学的)行動モデル

大森(2008)第2章、島田(1986)第1章、大森(2009)

- 家計内における、「家計内生産」に関する家計成員の行動モデル

大森(2008)第3章、第10.2節、久我・入谷・永谷・浦井(1998)第3章

### 4. 実証分析の考え方(第8、9回)

- 誘導モデルにおける因果的効果の推定

大森(2008)第4章、市村(2009)

- 行動モデルの構造的推定

The Economist (2009)、今井・有村・片山(2001)、市村(2009)

## 5. 均衡分析(第 10 回)

- 静学的な枠組みにおける部分均衡分析

大森(2008)第 7 章

## 6. 動学分析(1) 人的資本投資(第 11、12 回)

- 「人的資本」への「投資」という分析視点

大湾(2010)、大森(2008)第 9 章

## 7. 動学分析(2) 労働移動(第 13 回)

- 「サーチ活動」という分析視点

大森(2008)第 10.1 節

## 8. 動学分析(3) 賃金プロフィール(第 14 回)

- 賃金プロフィールを解釈する幾つかの行動モデル

大森(2008)第 11 章、大湾(2010)第 4 章

## 【テキスト等】

教科書:大森義明(2008)『[労働経済学](#)』日本評論社、3,200 円(税別)

本科目履修者は、生協や書店などで、必ず購入すること。

著者による誤植訂正のページ(定期的にチェックすること)

[http://www2.igss.ynu.ac.jp/~omori/text\\_corrections.pdf](http://www2.igss.ynu.ac.jp/~omori/text_corrections.pdf)

その他、授業で用いる予定の文献は以下である(順不同)。これら文献の本講義における使用方法の詳細については開講時に指示する。

市村英彦(2009)「匿名データ」の活用急げ 新統計法で政策分析精緻化へ」日本経済新聞(朝刊)経済教室、2009 年 5 月 1 日

The Economist (2009) “Economics Focus: Cause and Detect” August 15<sup>th</sup>

[http://www.economist.com/businessfinance/displaystory.cfm?story\\_id=14210799](http://www.economist.com/businessfinance/displaystory.cfm?story_id=14210799)

(OCW には pdf 形式でしかアップロードできないので、このように URL を直接貼り付けています。

キーワード検索した方が便利でしょう。)

島田晴雄(1986)『労働経済学』岩波書店(品切重版未定)

太田聡一(2009)「解雇規制を考える(上) リスク非正規にしわ寄せ」日本経済新聞(朝刊)経済教室、  
2009年7月30日

神林龍(2009)「解雇規制を考える(下) 雇用改革 より広い視点で」日本経済新聞(朝刊)経済教室、  
2009年7月31日

大湾秀雄(2010)『マネージャーのための組織と人事制度の経済学(仮題)』東洋経済新報社(出版予定  
原稿)

大森義明(2009)「雇用保険制度と失業」『経済セミナー』6・7月号

久我清・入谷純・永谷裕昭・浦井憲(1998)『一般均衡理論の新展開』多賀出版(品切れ)

今井晋・有村俊秀・片山東(2001)「労働政策の評価—「構造推定アプローチ」と「実験的アプローチ」」  
『日本労働研究雑誌』497号

<http://db.jil.go.jp/cgi-bin/jsk012?smode=dtldsp&detail=F2002040056&displayflg=1>

なお、講義とは直接関係ないが、勉強の参考として、社会工学科図書室に、以下の教科書的書籍を  
リザーヴしてある。(出版年の新しい順)

ボルハス、ジョージ(2008)『Labor Economics (4<sup>th</sup> edition)』McGraw-Hill

太田聡一・橘木俊詔(2004)『労働経済学入門』有斐閣

大橋勇雄・中村二郎(2004)『労働市場の経済学—働き方の未来を考えるために』有斐閣

清家篤(2002)『労働経済』東洋経済新報社

大竹文雄(1998)『労働経済学入門』日経文庫

中馬宏之・樋口美雄(1997)『労働経済学』岩波書店

樋口美雄(1996)『労働経済学』東洋経済新報社

中馬宏之(1995)『労働経済学』新世社

## 【オフィスアワー】

月曜 17:00-18:00、水曜 15:00-16:00 (西 9 号館 6 階 638 室)